



2023年度

福井県立武生高等学校

同窓会総会

日 時 令和5年5月27日(土) 午後2時
(総会・パネルディスカッション・懇親会)

場 所 ホテルクラウンヒルズ武生

沿革

(旧制 県立武生中学校)

明治31年 3月 1日 福井県立武生尋常中学校創設
 明治32年 4月 1日 福井県武生中学校と改称
 明治34年 6月 12日 福井県立武生中学校と改称

(旧制 県立武生高等女学校)

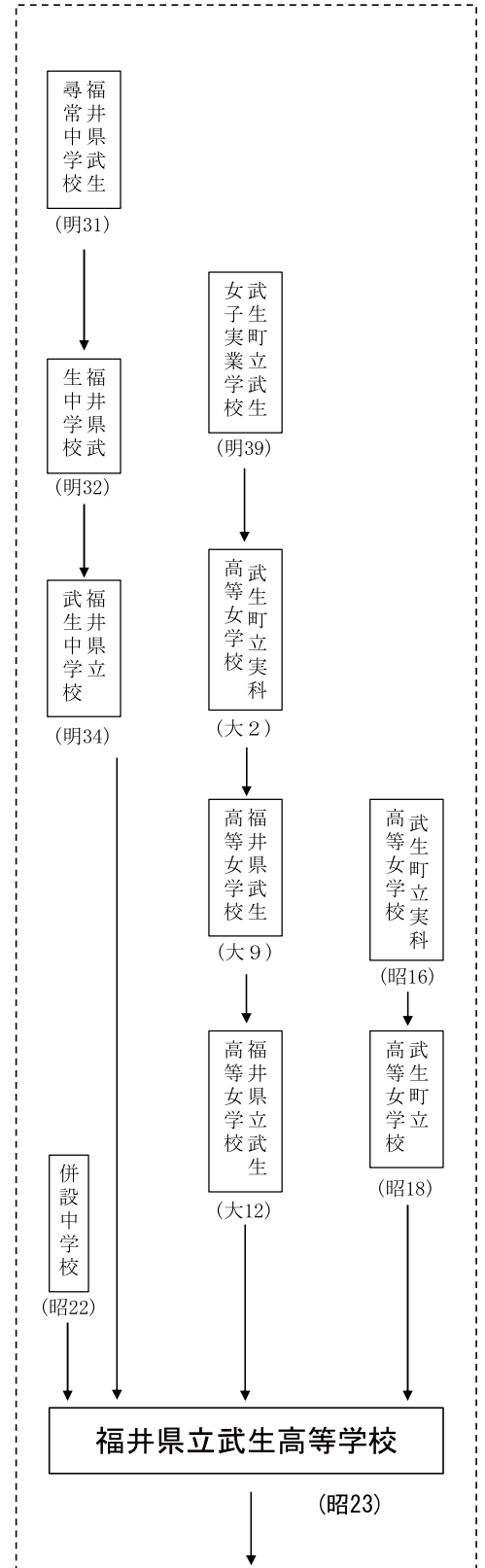
明治39年 6月 9日 武生町立武生女子実業学校創設
 大正2年 2月 27日 武生町立実科高等女学校と改称
 大正9年 3月 10日 福井県武生高等女学校と改称
 大正12年 4月 1日 福井県立武生高等女学校と改称

(旧制 町立武生高等女学校)

昭和16年 4月 21日 武生町立実科高等女学校認可
 昭和18年 4月 1日 福井県武生町立高等女学校と改称

(福井県立武生高等学校)

昭和23年 4月 1日 学制改革により福井県立武生中学校、福井県立武生高等女学校、福井県武生町立高等女学校を統合し、福井県立武生高等学校に改組し、普通・家庭・商業・工業の4課程を設定
 定時制（本校・池田分校・今庄分校および栗田部分校）を併設
 昭和30年 4月 1日 新校舎第1期工事完成、現在地に移転
 昭和34年 4月 1日 工業課程は武生工業高等学校として分離独立
 昭和35年 11月 1日 新校舎工事完成、落成式挙行
 昭和38年 5月 8日 プール開き挙行
 昭和40年 4月 1日 武生商業高等学校新設に伴い商業科募集停止
 昭和40年 4月 1日 定時制池田分校は全日制池田分校となる
 昭和40年 5月 30日 第二体育館落成式挙行
 昭和42年 10月 30日 生徒指導実験学校研究発表会を行う
 昭和43年 11月 1日 創立70周年記念式を行う
 昭和44年 4月 1日 理数科設置
 昭和44年 7月 19日 創立70周年記念館落成式
 昭和53年 11月 1日 創立80周年記念式を行う
 昭和55年 12月 23日 普通教棟改築、鉄筋校舎完成
 昭和57年 11月 24日 特別教棟改築、鉄筋校舎完成
 昭和59年 3月 31日 音楽教棟完成
 平成3年 3月 31日 本館・第1体育館リフレッシュ工事、正門並びにシンボル・ガーデン完成
 平成4年 1月 31日 定時制教棟改築着工
 平成4年 10月 31日 定時制教棟完成
 平成5年 3月 20日 弓道場完成
 平成5年 12月 27日 第2体育館リフレッシュ工事完成
 平成7年 4月 1日 定時制課程単位制設置
 平成10年 11月 1日 創立100周年記念式を行う
 平成10年 11月 6日 葵講堂完成
 平成12年 3月 31日 生徒会館（記念会館）リフレッシュ工事完成
 平成15年 2月 10日 第1教棟耐震補強工事完成、第1体育館改築着工
 平成15年 10月 31日 第1体育館完成
 平成18年 2月 14日 第2体育館完成
 平成20年 4月 9日 平成20～24年度、文部科学省からスーパーサイエンスハイスクールの指定を受ける
 平成25年 4月 1日 平成25～29年度、文部科学省からスーパーサイエンスハイスクールの指定を受ける
 平成30年 4月 1日 平成30～34年度、文部科学省からスーパーサイエンスハイスクールの指定を受ける
 令和2年 3月 31日 池田分校閉校
 令和2年 4月 1日 探究進学科設置
 令和4年 3月 31日 理数科閉科
 令和5年 4月 1日 令和5～9年度、文部科学省からスーパーサイエンスハイスクールの指定を受ける



武生中学校校歌

作詞 堀井 磊

一、
越智の高嶺の彼方には
波幾千里日本海

巽の空に仰ぎ見る
御嶽の山は巍峨として
その秀嶺の影ひたす
日野の流れの清きかな

二、
星霜経りし国府の跡
功は高き藤垣や
三つの川水治めけむ
君味真野の宮所
杣山松を吹く風は
忠義にはやる矢叫びか

三、
栄ある歴史偲びつゝ
紫明の天地ながめつゝ

心武生の学舎に
知徳をみがく五春秋
朝日とのぼる向上の
誰百難に屈せむや

四、
赤帝焰を息吹く時
熱球宙を飛ぶところ
朔風雪をふぶく時
竹刀火花の散るところ
血潮はわきて青春の
男児の腕高鳴れる

五、
嗚呼東海に覇を唱ふ
国をになはむ任重く
母校の誉世の光
かゞやかすべき南越を
健児はわれぞ芳ばしく
咲かむ万朶の山桜

武生高等女学校校歌

御歌所寄人 鳥野幸次先生校閲

作詞 清水政之

一、男大迹の皇子のおはしけむ

ゆかりたふとき道の口

武生の国府と名に立ちて

文化の花も先づ咲きし

昔の跡に開けたる

まなびの園の名もよしや

二、忠義に燃ゆる杣山の

紅葉の色をかざしにて

越前富士に積む雪の

清きを己が心にて

日野の川波絶えずのみ

勉め励まんいざやいざ

三、后の宮の詠みましし

御歌の意かしこみて

人の中にもをみなたる

道の誠をみがきつつ

家を身をもとのへて

千代の鏡と仰がれむ

福井県立武生高等学校校歌

作詞 佐藤春夫

作曲 大中寅二

一、都に遠く雲閉す

日野の盆地と云ふ勿れ

山河穢れず人怜く

若人の夢みな清し

二、武生の国府とうたはれし

代々の文化のあとを見よ

史上に残る名に富むを

郷土のほまれ誰か継ぐ

三、味真野の子や丹生の子の

学びに集ふ二十人

校舎あかるく庭ひろく

朋友師弟 睦しき

四、いかにか生くと人間はば

我は明朗自律の児

まことを求め道に生き

世に尽さんと答へまし



ご 挨 拶

同窓会会長 玉村 一男 (昭和42年卒)

武生高等学校同窓会の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
今春卒業生の326名の皆様が、武生高等学校の同窓会の会員となりました。そして本校同窓生はほぼ5万人までに迫りました。私たちは皆様を心から歓迎し、皆様と共に歴史と伝統ある武生高校同窓会の新たなページを創っていきたいと思っています。

この3年間、世界中がコロナ禍に振り回されてきましたが、ようやく明るい日差しが見え始めたところかと思えます。医療機関、病院、諸施設など現場の最前線で仕事されているエッセンシャルワーカーの同窓会の皆様には、心より敬意と感謝を表する次第です。

さて福井県立武生高校は、本年は創立125周年という記念すべき節目の年になり、これを記念して創立125周年記念版名簿発行する運びとなりました。平成14年時に発行された同窓会名簿の更新を行います。新たに整備されたデータは母校、同窓会の貴重な財産となります。何卒ご理解、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。また5年後の令和10年には、武生高校130周年記念式典を開催します。これに向けて記念事業を行う事も決定し、昨年10月には相木七良右エ門氏を実行委員長とする実行委員会を立ち上げました。財務委員会、生徒会館整備委員会、記念誌委員会、式典祝賀委員会の4つの委員会を作って現在事業計画を策定中です。主たる事業としては生徒会館の改修の解体とそれに代わる施設の新築を検討中です。現在、学校側と意見のすり合わせを行いながら、具体的に詳細計画を進めているところです。同窓会の皆様の絶大なるご協力と衆知を集めて実行して参りますので、何卒、宜しくお願い申し上げます。

さて、本年の武生高校同窓会総会は、仲倉典克実行委員長とする昭和61年卒業の皆さんが、開催幹事として総会・特別講演、パーティー懇親会を開催されます。本日は、竹林義晃さん、田中亮吏さん、兵庫真一郎さん、加藤英巳さん、玄番真紀子さんの5人によるパネルディスカッション「外から見たふるさと福井」のお話を楽しみにしております。まだコロナ禍も完全には収束していませんが、私共はこうして総会で地元在住の同窓会の皆様、関東支部、関西支部、石川県支部、東海支部の皆様と久しぶりにお会いできるのを楽しみにしてきました。同窓生の皆さんが一同に集い、語らい、交流を深め、懇親を深めて頂ければ誠に喜ばしい限りです。そしてこのように入念な準備をして頂いた担当学年同窓生諸兄に、改めて深く御礼申し上げる次第です。

昨年のロシアのウクライナ侵攻より、国内外で政治、経済、社会状況は引き続き厳しい状況にありますが、一日も早く平和な時代が訪れ、正常な社会や平穏な生活に戻れる事を願うばかりです。来春、北陸新幹線が敦賀まで開通となりますが、この丹南地域もインバウンド効果で賑わい、地域経済が活性化される事を期待しています。最後になりましたが、本校がこれからも先進的な教育に取り組み、活力に富んだ素晴らしい高校、そして地域からも愛され、魅力溢れる高校であらん事を心から願う次第です。そして令和5年度が同窓会の皆様にとって良い年でありますようご祈念申し上げますと共に、これからも、同窓会事業に何卒ご理解、ご協力の程お願い申し上げ、ご挨拶とします。



ご挨拶

学 校 長 島 田 芳 秀

日ごろより、会長の玉村一男 様をはじめ、役員・理事の方々、同窓会員の皆様方には、多大なご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。また、本年度の総会開催に向けて、実行委員長 仲倉典克 様をはじめ、昭和61年卒業の方々を中心に関係各位のご協力のもと、準備を進めていただき御礼申し上げます。本日、2023年度武生高等学校同窓会総会が開催されますことを、心からお祝い申し上げます。

本校は、1898年の学校創立から数えて、今年で125年を迎えます。これまでに卒業された皆様方は、県内はもとより全国各地、さらには国際社会のさまざまな分野で輝かしい業績を上げられています。在校生たちにとっても、卒業生の皆様方の活躍が励みとなり、目標となっています。

さて、今年3月には、新設された探究科と普通科という2つの学科での初めての卒業式が挙行されました。個性豊かで何事にも積極的に取り組んだ令和4年度卒業生は、夢や希望を持って、新たな活躍の場に踏み出していきました。

4月からは、文部科学省の厳しい審査に合格し、スーパーサイエンスハイスクールの4期目がスタートしました。研究指定を受けるこれから5年間は、大学や企業、本校の卒業生の研究者の方々と連携しながら、科学的探究力や国際的に協働する力を全国トップレベルに高める取り組みを行ってまいります。

全日制の今春の進学実績は、国公立大学全体で現役生、過年度生あわせてのべ247名が合格しました。国公立大学の合格率は80%に迫り、過去20年間で最高の合格率を残すことができました。また、東京大学や京都大学などの難関10大学と国公立の医学部医学科には43名が合格し、合格者数は過去10年間で2番目に良い結果となりました。関東や関西などの有名な私立大学へも多くの生徒が合格しています。定時制では、14名が就職し7名が大学や短大、専門学校などに進学しました。

全日制の部活動では、県新人大会で山岳部が男子・女子ともに団体優勝、陸上部が男子円盤投げ第1位、北信越大会で第2位、男子バスケットボール部が県選手権大会で第3位、百人一首かるた部が県学校対抗かるた選手権大会で団体優勝、アート美術部が全国高等学校版画選手権大会団体部門で佐渡版画村賞、合唱部が県ヴォーカルアンサンブルコンテストで金賞、グローバルサイエンス部が全国高校生英語ディベート大会へ出場しました。定時制では、県新人大会で男子バスケットボール部が優勝、男子卓球部が団体で準優勝しました。生活体験発表会では、四半世紀ぶりに全国大会に出場し、奨励賞を受賞しました。学校の学習環境の整備も進んでおり、全日制の3年生校舎に続き1年生校舎もリノベーションが終了しました。今年度には、2年生校舎のリノベーションが終わり、すべての学年で素晴らしい校舎となります。

最後になりますが、武生高校では、同窓会会員の皆様のご期待に添えるよう、これまで受け継がれてきた伝統と文化を尊重し大切にしながら、変化する時代にあわせた教育を実践し、生徒一人ひとりの夢の実現に向けた教育活動に取り組んでまいり所存です。

2023年度 武生高等学校同窓会総会 次第

5月27日(土)

14:00~14:40

総 会 (於: 3 階 平安の間)

1 開会のことば 実行委員長 仲 倉 典 克

2 物故者に対する黙とう

3 同窓会会長挨拶 玉 村 一 男 氏

4 学 校 長 挨 拶 島 田 芳 秀 氏

5 議 事

(1) 令和4年度事業報告

(2) 令和4年度決算報告

令和4年度会計監査報告

(3) 令和5年度事業計画案審議

(4) 令和5年度事業予算案審議

(5) その他

6 報告事項

(1) 支部報告

(2) その他

7 閉会のことば 副実行委員長 酒 井 智 康

14:50~15:40

パネルディスカッション (於: 3 階 平安の間)

「外から見た ふるさと福井」(昭和61年卒業)

関西電力㈱ソリューション本部部長 竹 林 義 晃

岡山大学惑星物質研究所教授 田 中 亮 吏

三菱UFJ信託銀行㈱資産運用部チーフアナリスト 兵 庫 真 一 郎

キューピー㈱神戸工場長 加 藤 英 巳

徳島県那賀町木頭図書館司書・学芸員 玄 番 真 紀 子

16:00~17:40

パーティー・懇親会 (於: 3 階 鳳凰の間)

1 実行委員長挨拶 実行委員長 仲 倉 典 克

2 乾 杯 副 会 長 上 木 義 晴 氏

3 歓 談

4 万 歳 三 唱 副 会 長 笠 原 章 氏

5 謝 辞 副実行委員長 田 中 禎 仁

令和4年度 事業報告

令和4年

4月 5日(火)	会計監査	武生高校 応接室
4月23日(土)	第1回役員会、理事会 生徒会館見学会	武生高校 葵講堂
5月27日(金)	同窓生講演会〔生徒対象〕	武生高校 第2体育館
5月28日(土)	同窓会報 第51号発行 2022同窓会総会 特別講演会 〔パーティー無し〕	ホテルクラウンヒルズ武生
8月24日(水)	臨時役員会	武生高校 応接室
9月28日(水)	常任理事会	武生高校 葵講堂
10月21日(金)	第2回役員会、理事会 130周年記念事業実行委員会設立総会	武生商工会館

令和5年

3月 2日(木)	全日制卒業式(同窓会入会) 定時制卒業式(同窓会入会)
----------	--------------------------------

◇各支部 総会

関東支部	11月27日(日)	総会・講演会〔AP市ヶ谷〕
関西支部	なし	
石川県支部	10月15日(土)	総会・金沢名勝見学会 〔石川県立図書館・国立工芸館〕
東海支部	なし	

令和4年度 武生高等学校同窓会会計 収支決算書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

一般会計

【 収 入 】

単位:円

項 目	令和4年度予算	令和4年度決算	比較増減	備 考
繰 越 金	2,077,495	2,077,495	0	
入 会 金	993,000	978,000	△15,000	全日制298、定時制28(1名3,000円)
雑 収 入	5	15	10	預金利息
寄 付 金	0	254,000	254,000	実行委員会、有志
合 計	3,070,500	3,309,510	239,010	

【 支 出 】

項 目	令和4年度予算	令和4年度決算	比較増減	備 考
会 議 費	150,000	40,360	△109,640	理事会会場使用料 お茶代 他
旅 費	300,000	142,660	△157,340	各支部来福旅費、関東支部総会旅費
消 耗 品 費	5,000	44,917	39,917	用紙、封筒代 他
通 信 費	130,000	116,385	△13,615	電話使用料、各種郵送料、HP管理費 他
慶 弔 費	20,000	0	△20,000	
事 務 費	20,000	20,000	0	事務手当
支 部 補 助 費	315,500	315,760	260	関東・関西10万、石川・東海5万、定時14,000円 振込手数料
母 校 振 興 費	200,000	99,000	△101,000	クリアファイル、チラシ
積 立 金	400,000	400,000	0	
予 備 費	1,530,000	63,200	△1,466,800	記念会館電気照明修繕費、記念会館補助5万
合 計	3,070,500	1,242,282	△1,828,218	

令和4年度収入合計 3,309,510 円

令和4年度支出合計 1,242,282 円

令和5年度への繰越金 2,067,228 円

同窓会資産

単位:円

一 般 会 計	普通預金	2,067,228
特 別 会 計	定期預金	17,815,580
同 窓 会 会 報 会 計		1,633,083
合 計		21,515,891

会計収支監査の結果、諸帳簿及び証拠書類等は、適正に処理されていることを認めます

令和5年4月13日

監 事

三村 昌之

監 事

松浦 宏由

令和4年度 武生高等学校同窓会 会報特別会計 収支決算書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

会報会計

【 収 入 】

単位:円

項 目	令和4年度予算	令和4年度決算	比較増減	備 考
繰 越 金	1,543,069	1,543,069	0	
令和4年度生 令本校卒業生	450,000	447,000	△3,000	1,500円×298人
新規購読	0	1,500	1,500	1人
雑収入	31	16	△15	預金利息
合 計	1,993,100	1,991,585	△1,515	

【 支 出 】

項 目	令和4年度予算	令和4年度決算	比較増減	備 考
会報発行費	350,000	358,392	8,392	会報印刷・発送代、振込手数料
積立金	0	0	0	
残高証 発行手数料	550	0	△550	
予備費	1,642,550	110	△1,642,440	郵送通知料金
合 計	1,993,100	358,502	△1,634,598	

令和4年度 収入合計 1,991,585 円

令和4年度 支出合計 358,502 円

令和5年度への繰越金 1,633,083 円

《内訳》

普通預金 1,540,341 円

振替口座 92,742 円

計 1,633,083 円

令和5年度事業計画(案)

令和5年

4月13日(木)	会計監査	(武生高校 応接室)
4月21日(金)	第1回役員会、理事会	(武生商工会館)
5月27日(土)	同窓会報 第52号発行 同窓会総会、パーティー 特別講演会(パネルディスカッション) 講師 県外在住者5名[昭和61年卒]	(ホテルクラウンヒルズ武生)
6月23日(金)	同窓生講演会[2年生生徒対象] 講師[昭和61年卒]	
10月20日(金)	第2回役員会、理事会	(未定)
11月	創立125周年記念講演会[全校生徒対象]	(武生高校)

令和6年

3月 初旬	全日制卒業式(同窓会入会) 定時制卒業式(同窓会入会)
-------	--------------------------------

◇各支部 総会

関東支部	なし
関西支部	なし
石川県支部	未定
東海支部	未定

令和5年度 武生高等学校同窓会会計 予算書（案）

（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

一般会計

【 収 入 】

単位：円

項 目	令和5年度予算	備 考
繰 越 金	2,067,228	前年度繰越金
入 会 金	1,312,000	全日297、定時31（1名4,000円）
雑 収 入	72	利息等
寄 付 金	0	
合 計	3,379,300	

【 支 出 】

項 目	令和5年度予算	備 考
会 議 費	150,000	理事会（4月、10月）
旅 費	300,000	関東・石川・東海支部総会、各支部来福旅費
消 耗 品 費	15,000	事務用品等
通 信 費	130,000	電話料、郵送料、HP年間維持管理料
慶 弔 費	20,000	
事 務 費	20,000	事務手当
支 部 補 助 費	320,000	関東・関西10万、石川・東海5万、定時@500×31人、振込手数料
母 校 振 興 費	100,000	武生高校広報費
125周年事業	300,000	講演会
積 立 金	400,000	特別会計（定期預金へ）
予 備 費	1,624,300	記念会館補助等
合 計	3,379,300	

※款項目の流用は理事会にご一任ください

令和5年度 武生高等学校同窓会 会報特別会計 予算書（案）

（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

会報会計

【 収 入 】

単位:円

項 目	令和5年度予算	備 考
繰 越 金	1,633,083	前年度繰越金
令和5年度本校卒業生	445,500	1,500円×297名(全日制)
新 規 購 読	0	
雑 収 入	17	利息
合 計	2,078,600	

【 支 出 】

項 目	令和5年度予算	備 考
会 報 発 行 費	400,000	同窓会会報(5月発行) 印刷、発送代、振込手数料
積 立 金	0	
残高証明発行手数料	550	振替口座残高証明
予 備 費	1,678,050	
合 計	2,078,600	

※款項目の流用は理事会にご一任ください

令和5年度武生高等学校同窓会 役員・理事一覧表

2023/4月現在

役 職	氏 名	卒業年次	役 職	氏 名	卒業年次	役 職	氏 名	卒業年次
会 長	◎ 玉 村 一 男	42	理 事	栗 塚 俊 夫	46	理 事	◎ 坂 野 正 仁	59
副会長	◎ 上 木 義 晴	45	”	藤 木 茂 之	46	”	平 林 透	59
副会長	◎ 笠 原 章	45	”	五十嵐 公 二	47	”	森 中 裕 信	59
副会長	◎ 酒 井 郁 江	52	”	宗 近 博 之	47	”	中 村 忠 嗣	60
副会長	◎ 田 中 大 成	53	”	◎ 佐 藤 かよ子	47定	”	笹 田 和 子	60
副会長	◎ 平 山 勝 康	55	”	白 崎 弘 康	48	”	仲 倉 典 克	61
会 計	◎ 井 上 和 治	44	”	上野谷 讓 二	49	”	是 広 憲 一	61
監 事	◎ 三 村 昌 之	48	”	加 藤 明 之	49	”	月 岡 幹 雄	62
監 事	◎ 松 浦 宏 由	51	”	岡 田 武 廣	50	”	竹 内 健	62
理 事	◎ 堀 婦佐子	30	”	関 孝 夫	50	”	石 川 純 也	63
”	◎ 吉 田 勉	31	”	田 中 康 和	50	”	武 藤 英 樹	63
”	◎ 堀 川 利 彦	32	”	加 藤 団 秀	51	”	渡 辺 和桂子	63
”	◎ 岩 堀 真理子	35	”	河 嶋 衛	51	”	柴 田 吉 信	H01
”	◎ 山 田 洋 三	35	”	賀 川 典 明	52	”	西 出 博 俊	H01
”	◎ 河 合 敏 一	36	”	長谷川 和 弘	53	”	高 野 祐 一	H01
”	◎ 香 川 克 子	37	”	◎ 脇 田 昇 治	53	”	塩 田 憲 康	H02
”	◎ 齊 藤 敏 機	37	”	上 野 浩 一	54	”	藤 井 信太郎	H02
”	山本 仁左衛門	37	”	野 田 義 弘	54	”	宮 本 理	H02
”	西 山 克 美	38	”	坂 口 順 一	55	”	石 本 郁 夫	H03
”	谷 尾 清 隆	39	”	高 嶋 敏 郎	55	”	塚 崎 嘉 彦	H04
”	笠 島 賢一郎	40	”	奈 良 俊 幸	56	”	土 田 康 博	H04
”	上野谷 憲 示	40	”	萬 谷 宏 治	56	”	中 野 嘉 昭	H05
”	石 田 正 人	41	”	吉 村 文 男	56	”	高 橋 愛 子	H06
”	清 水 花 子	41	”	◎ 杉 本 正 一	57	”	畠 広 文	H06
”	宇 野 一 右	42	”	加 藤 幸 紀	57	”	服 部 正 秀	H06
”	笹 川 信 一	42	”	村 上 栄 樹	57	”	田 村 隼 人	H07
”	松 井 透	43	”	婦 山 明 朗	58	”	福 岡 義 邦	H07
”	森 山 明	43	”	時 田 和一良	58	”	粕 谷 興 正	H08
”	杉 本 はじめ	44	”	宮 本 俊	58	”	小 西 真由美	H08

◎は常任理事

各支部

顧 問

事務局

	氏 名	卒業年次		氏 名	卒業年次		氏 名	卒業年次
関 東 支 部 長	◎ 小 倉 征 彦	37	前 会 長	三田村 俊 文	31	書記会計	伊 藤 裕 貴	61
関 西 支 部 長	◎ 三 好 規 雄	41	学 校 長	島 田 芳 秀		調 査	水 出 寿 一	
石 川 県 支 部 長	◎ 江 端 義 幸	44	教頭 (全日制)	三田村 正 伸	H01	調 査	中 山 孝 士	54
東 海 支 部 長			教頭 (定時制)	為 国 順 治		調 査	栗 田 仁 恵	H02
◎は常任理事						調 査	伊 藤 貴 子	H04
						会 計	服 部 英一郎	60

校内理事

分 担	氏 名	卒業年次	分 担	氏 名	卒業年次	分 担	氏 名	卒業年次
調 査	盛 高 宏 嗣	52	調 査	野 村 晶 彦	62	調 査	小 松 めぐみ	H05
”	水 嶋 勝 彦	56	”	林 昭 彦	62	”	高 芝 和 紀	H07
”	酒 井 哲 弥	57	”	宗 近 浩 憲	63	”	野 村 幸 史	H10
”	辻 川 広 也	58	”	松 村 剛	H02	”	板 垣 洋 美	H11
”	上 木 俊 哉	61	”	塚 崎 寛	H02	”	福 島 健一郎	H14
”	宇 野 智 子	62	”	西 口 佳 光	H03	”	田 中 里 奈	H16
”	木 原 文 一	62	”	木 原 大 彰	H04	”	橋 本 洋 平	H18
”	鈴 木 秀 人	62	”	田 中 寛 人	H04			

福井県立武生高等学校 同窓会会則

第1章 総 則

- 第1条 本会は福井県立武生高等学校同窓会と称する。
- 第2条 本会の事務局は福井県立武生高等学校内に置く。
- 第3条 本会は地域あるいは職域ごとに支部を設けることができる。

第2章 目的及び事業

- 第4条 本会は会員相互の親睦をはかり、併せて母校の発展に寄与することを目的とする。
- 第5条 本会は前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
1. 会員名簿及び会報の発行
 2. 母校の教育向上のための協力
 3. その他前条の目的を達成するための事業

第3章 会 員

- 第6条 本会の会員は正会員と特別会員の2種からなり、それぞれに該当するものは下記のとおりである。
- 正会員
1. 旧武生中学校の卒業生
 2. 旧武生高等女学校と旧町立武生高等女学校の卒業生
 3. 旧武生高等学校併設中学校の卒業生
 4. 武生高等学校の卒業生
 5. 前各項に掲げる学校に在学した者で、本会の承認をえた者
- 特別会員
1. 旧武生中学校の職員
 2. 旧武生高等女学校と旧町立武生高等女学校の職員
 3. 旧武生高等学校併設中学校の職員
 4. 武生高等学校の旧職員及び現職員

第4章 役員及び顧問

- 第7条 本会に次の役員を置く。
1. 会 長 1名
 2. 副 会 長 5名
 3. 常 任 理 事 若干名
 4. 理 事 若干名
 5. 会 計 1名
 6. 監 事 2名
 7. 顧 問 若干名
- 第8条 役員の選任は次の通り行う。
1. 会長、副会長は正会員の中から総会で選出する。
 2. 常任理事は理事の中から卒業年次を考慮して選び、また分校と定時制の理事を含めて会長が委嘱する。
 3. 理事は卒業年次ごとに1～2名を会長が委嘱し、また会長が特別に委嘱することもできる。
 4. 監事は理事の中から会長が委嘱する。
 5. 顧問は理事会、総会の承認を得て会長が委嘱する。ただし、武生高等学校長及び教頭は顧問に就任する。

- 第9条
1. 会長は本会を代表し、会務を統轄する。
 2. 副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時はその職務を代行する。また会務(財務、総会、会報、名簿など)に分担して参与する
 3. 常任理事は会長、副会長を補佐して、事業の立案や運営にあたる。
 4. 理事は本会の事業の立案や実行に参与する。
 5. 監事は会計及び資産状況を監査する。
 6. 顧問は会長の諮問に応じ、本会の運営に参与する。
- 第10条 役員の任期は2年とする。ただし再任を妨げない。

第5章 会 議

- 第11条 本会の会議を分けて、総会、理事会、常任理事会とし、いずれも会長がこれを招集する。
- 第12条 総会は本会の最高決議機関で毎年1回開催する。ただし、会長が必要と認めたときは臨時に開くことが出来る。司会は出席者の中から選ぶ。
- 第13条 総会で審議する事項は、次の通りである。
1. 会長、副会長の選出
 2. 常任理事・理事・会計及び監事・顧問の承認
 3. 決算及び会務・事業報告
 4. 予算案及び事業計画案
 5. その他必要な事項
- 第14条 議決は出席者の過半数の賛成を必要とする
- 第15条 理事会は会長が必要と認めたときに開催する。ただし理事総数の3分の1以上の出席者がいなければ成立しない。理事会の審議事項は、次の通りである。
1. 総会に付議すべき事項
 2. その他の必要な事項

第6章 会計及び資産

- 第16条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。
- 第17条 本会の経費は入会金、寄付金等をもってこれに充てる。ただし会報の発行については、会報購読料を徴収してこれに充てる。
- 第18条 本会の入会金は4,000円とする。
- 第19条 本会の基本資産は、総会の承認をえずに消費し、また担保に共してはならない。

第7章 会 則 の 変 更

- 第20条 本会則は理事会の承認を経て、総会の議決をえれば改正することができる。

第8章 補 則

- 第21条 本会則の改正 平成6年4月 1日 改正
令和4年5月28日 改正

パネルディスカッション 『外から見た ふるさと福井』

5月27日(土) 14:50~15:40

以下のURLまたは右のQRコードからライブ
配信が視聴できます。

<https://youtube.com/live/wx7NNRb11t4>



◆ 要旨

少子高齢化や都市部への人口流出によって、地方の人口が減少しており、全国の約半数の自治体が「消滅可能性都市」に該当すると言われていますが、私たちのふるさと、福井もまた同じ課題を持っています。県外で活躍する5人の武生高校OB（S61卒）が、自身の経験から「ふるさと福井」への「想い」と「これから」について語ります。



コーディネーター

竹林 義晃（たけばやし よしあき）

関西電力株式会社

ソリューション本部 部長

東京大学経済学部経済学科卒業後、関西電力株式会社に入社。阪神・淡路大震災の復旧支援や人事制度改定等の業務に従事する一方、二度にわたり官民交流で中央官庁（経済企画庁・内閣官房）勤務を経験。近年は、法人営業部門において、わが国・世界をリードするお客さまに対し、電気・ガスの契約だけでなく、省エネルギーに向けたソリューション提案を実施。現在、「幸せ視点の経営」を目指し、先達の教えを受けながら、日々精進中。



パネリスト

田中 亮吏（たなか りょうじ）

岡山大学

惑星物質研究所 教授

武高サッカー部出身。北海道大学理学研究科地球惑星科学専攻修了。専門は宇宙地球化学。太陽系や地球の誕生から現在に至る過程を解き明かすことを目指している。JAXA探査機「はやぶさ」「はやぶさ2」が採取した小惑星試料の初期分析も担当。小惑星リュウグウに水やアミノ酸が含まれることを発見し、地球の水や有機物の起源の解明にも貢献。八重山古典民謡保存会教師免許を持ち三線教室を主宰するほか、トレイルランナーとしても活動中。



パネリスト

兵庫 真一郎

（ひょうご しんいちろう）

三菱UFJ信託銀行株式会社

資産運用部 チーフアナリスト

武高将棋部出身。東京大学経済学部卒業後、東京銀行に就職。為替業務、ロンドン駐在、資産運用ビジネスを経て、現在、三菱UFJ信託銀行にてチーフアナリスト兼ファンドマネージャーとして国内株式運用に従事。アナリストとしてヘルスケアやトイレットリー産業に主に従事すると共に国内ESG投資のパイオニアの一人として環境省、経産省の専門委員を歴任。国内外の年金基金や政府資金を運用しESG投資の普及に向けて様々なセミナーに登壇、大学招聘講師としても活動中。



パネリスト

加藤 英巳（かとう ひでみ）

キューピー株式会社

神戸工場長

武高山岳部出身。帯広畜産大畜産学部卒。学生時代は自動車部に所属。1990年キューピー株式会社入社。泉佐野工場、仙川工場に主に生産技術を担当、中河原工場長、タイ工場長、本部グループ生産戦略推進部を経て現在神戸工場長。神戸工場は最新設備を駆使したグループ初のスマートファクトリーとして稼働し、西日本や海外にマヨネーズなどを供給している。また工場活性化プロジェクト「夢多（むだ）採り活動」を20年間牽引中。



パネリスト

玄番 真紀子（げんば まきこ）

徳島県那賀町木頭図書館

司書・学芸員

武高弓道部出身。京都女子大学文学部英文学科卒業。兵庫県・大阪府で教員。子育て中に環境や食に関心を持ち田舎移住を目指す。1998年徳島県の木頭村（現・那賀町木頭地区）北川小学校「山村留学センター」スタッフとして家族で移住。体験イベントやインターン受け入れなどもしながら、山の生活文化やコミュニティの素晴らしさを雑誌や新聞に連載。現在、図書館司書として那賀町木頭図書館に勤務。阿波太布伝統技法保存会副会長。

2023年度 武生高等学校同窓会総会実行委員会

		昭和61年卒業			
実 行 委 員 長		仲倉 典克【11組】			
副 実 行 委 員 長		酒井 智康(総務/総会)【2組】 田中 禎仁(企画/運営)【9組】 八田 耕作(合同クラス会)【6組】 上田 昌範(広告/協賛)【9組】			
監 事		米澤 光治【11組】 小林 清美【10組】			
事 務 局 長		是広 憲一【1組】			
会 計 長		川上(富田)みのり【1組】 木野(中村)裕美【4組】			
総 会・冊 子 担 当 部 長		川邊 俊博【5組】 慶家 曜一【5組】 前澤(高原)まり【5組】			
講 演・懇 親 会 担 当 部 長		末野 佳明【3組】 麴(藤田)かおり【4組】 上良 法夫【4組】 水嶋(岩井)昭代【2組】			
合 同 ク ラ ス 会 担 当 部 長		近藤 英樹【1組】 坪谷(杉本)文男【6組】			
広 告・協 賛 金 担 当 部 長		上村 健一【5組】 成田 裕行【7組】			
ク ラ ス 員 委	1 組	近藤 英樹 是広 憲一	宮本(勝山)恵子 川上(富田)みのり	岩井(谷根)奈緒美 吉垣(吉田)優美	
	2 組	酒井 智康	谷崎 善英	水嶋(岩井)昭代	
	3 組	末野 佳明 山崎 雅	江南(濱野)則子 松澤(廣瀬)智子	中橋 貴子	
	4 組	上良 法夫 藪内 弘昌	加藤 和彦 木野(中村)裕美	麴(藤田)かおり	
	5 組	大森 健 上木 信弘 上村 健一 川邊 俊博	慶家 曜一 前澤(高原)まり 吉田(渡辺)恵子 堀田(田中)直美	佐々木(高山)真由美 沢崎 美加子	
	6 組	八田 耕作 加藤 昌弘	坪谷(杉本)文男 中谷 哲也		
	7 組	成田 裕行	堀川 利之		
	8 組	赤澤 竜一			
	9 組	田中 禎仁	上田 昌範		
	10 組	川邊(井土)敦子	山本(酒井)清美		
	11 組	米澤 光治	佐々木 浩哉	窪田 博	

※順不同、()は旧姓

ス テ ー ジ

福

教職員

松

役員等

竹

役員等

梅

役員等

祝

S20～30年代

寿

S40年代

禄

S40年代

賀

S50年代

慶

S50年代

喜

S50年代

豊

S56

幸

S56

義

S50年代

華

S60年代

和

S60年代

孝

S60年代

貴

H8

光

H8

清

平成年代

翼

S61

雅

S61

栄

S61

希

S61

扇

S61

桂

S61

桺

S61

桧

S61

葵

S61

座席表

1.数字は卒業年を表します

2.一応の目安で設定してありますので、空席を譲り合ってお座りください。



2023年度
福井県立武生高等学校
同窓会総会実行委員会

武生高等学校同窓会

URL <http://www.buko-dosokai.com>
E-mail jimukyoku@buko-dosokai.com
(事務局)

2023 年度
武生高等学校同窓会総会
令和 5 年 5 月 27 日

発行責任者 仲倉 典克
編集責任者 総会実行委員会事務局
印刷 株式会社 サカエマーク